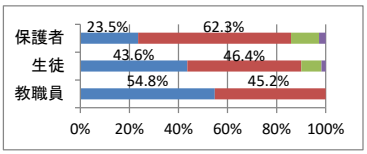
令和4年度　自己評価書・学校関係者評価書

■そう思う　■どちらかといえば,そう思う　■どちらかといえば、そう思わない　■そう思わない　■無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

1　一人一人の児童生徒の尊重

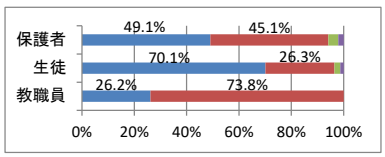
学校は一人一人の子どもを大切にした指導や対応ができていると思いますか。



【学校から】
○「1　一人一人の児童生徒の尊重」…保護者・生徒ともに「3」「4」の割合は8割程度で、学級担任を中心に生徒一人一人への声かけや細かな支援と生徒指導の三機能（自己存在感を与える・共感的人間関係を育成する・自己決定の場を与える）を意識した取組を行い、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めるように努めていく。
○「2　友達への思いやり」…生徒・保護者・教職員ともに「3」「4」の割合は9割超で、今後も毎月実施の「絆アンケート」や年1回実施の「心のアンケート」、日々の教育相談等を通して生徒の様子を把握し、居場所づくりや絆づくりを推進していく。
○「3　道徳・心の教育の充実」…保護者・教職員ともに「3」「4」の割合は8割程度で、3年前から授業者がローテーションしながら道徳の授業を行うことも取り入れており、心の教育への効果を期待してさらに道徳教育の充実に努めていく。

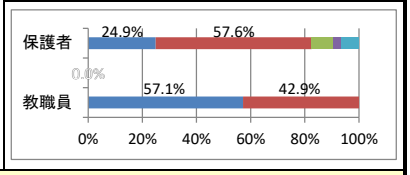
2　友達への思いやり

子どもは友だちと仲良くしていると思いますか。



3　道徳・心の教育の充実

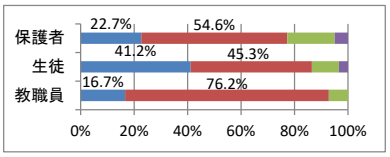
学校は豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。（礼儀、生命尊重，思いやりなど）



②確かな学力を育む教育の推進

4　意欲的な学習態度

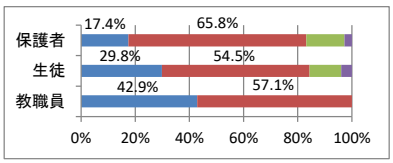
子どもは意欲的に授業に取組んでいると思いますか。



【学校から】
○「4　意欲的な学習態度」…「3」「4」の割合がそれぞれに差が見られ、学校生活における学習面の充実はもちろんのこと、家庭生活における学習面の充実にも力を注ぎ、より一層の家庭との連携を深めていく。
○「5　授業力向上」…「4」の割合は保護者・生徒と教職員に差が見られ、本校が実践している授業改善の柱である、「めあての提示」、「ICT等の活用」、「協働学習などの工夫」、「見通しと振り返り」などの成果と課題を今一度点検し、引続き授業力向上の取組を継続していく。
○「6　ICT活用」…「3」「4」の割合はそれぞれ7割超でタブレット端末先行導入実施（H30～）から活用してきているが、さらなる効果的な活用へと今後もICTの活用推進を行っていく。

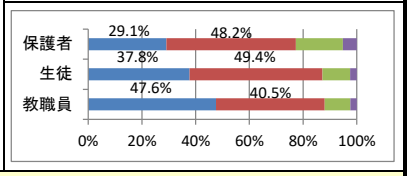
5　授業力向上

先生方はわかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。



6　ICT活用

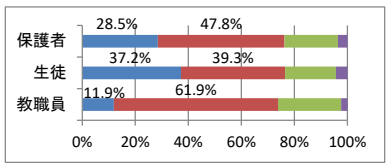
子どもはタブレット端末を活用して学習していると思いますか。



③健やかな体を育む教育の推進

7　健康づくり

子どもは好き嫌いなく食事をし、適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

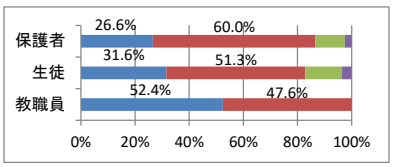


【学校から】
○「7　健康づくり」…「3」「4」の割合はそれぞれ7割超で、学校生活での保健体育科の授業を中心とした体力向上、給食指導での食育を推進し、家庭生活も含めた健康づくりへの意識づけを家庭と連携しながら継続していく。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

8　児童生徒理解

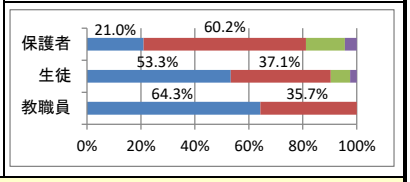
先生方は子どもの良さを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。



【学校から】
○「8　児童生徒理解」…「4」の割合はそれぞれに差が見られ、「生活ノート」や「絆アンケート」等を利用しながらこれまで以上に生徒のよさの発見に努め、教職員間や家庭との連携を密に情報を共有していく。
○「9　いじめや問題への対応」…保護者・生徒ともに「3」「4」の割合は8割程度であるが、「4」の割合が保護者と生徒・教職員で差が大きい。今後も「学校いじめ防止基本方針」によるいじめの未然防止、早期発見と早期対応、再発防止について全職員で取組んでいき、家庭との連携を図っていく。

9　いじめや問題への対応

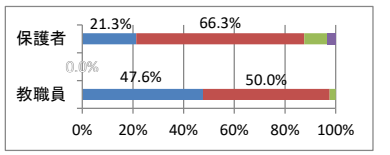
学校ではいじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。



②特別支援教育の推進

10　学校の支援体制

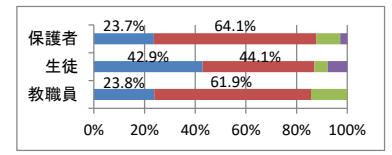
学校は支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取組んでいると思いますか。



【学校から】
○「10　学校の支援体制」…「3」「4」の割合はそれぞれ8割超で、生徒一人一人に応じた細やかな指導を行い、教育相談の充実や関係機関との連携等による支援体制を保ちつつ、生徒指導部会や登校支援委員会にて今後も組織的な対応を機能させていく。
○「11　共生社会を担う人材の育成」…「3」「4」の割合はそれぞれ８割超で、今後も10組及び11組との交流学習や共同学習等を充実させて相互理解の促進に繋げていく。

11　共生社会を担う人材の育成

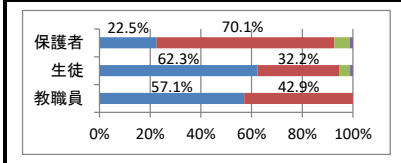
10組及び11組との交流及び共同学習等の実施は相互理解の促進につながっていると思いますか。



①子どもたちの身近な安全対策の充実

12　安全と事故防止

学校は子どもの事故防止などの安全教育に取組んでいると思いますか。

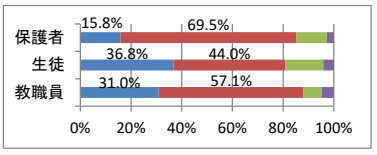


【学校から】
○「12　安全と事故防止」…それぞれ「3」「4」の割合は9割程度で、地震避難訓練、不審者対応訓練を実施して生徒及び教職員の防災意識を高めており、取組の継続とタイムリーな啓発に努めていく。

②最適な学習環境の整備

13　施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は安全でよく整備・管理されていると思いますか。

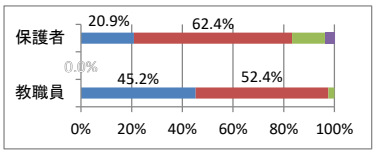


【学校から】
○「13　施設・設備の安全管理」…「3」「4」の割合は8割程度あり、今年度は校舎北側の樹木伐採・剪定、2・3棟の屋上の防水工事などを施工した。毎月の安全点検はもちろんのこと、日常の安全点検に努めていく。

③家庭・地域社会との連携強化

14　教育方針・目標の理解

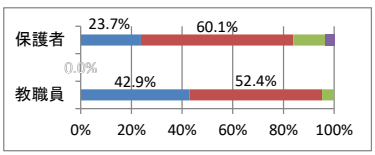
学校は学校の教育方針や教育目標などを子どもや保護者、地域にわかりやすく示していると思いますか。



【学校から】
○「14　教育方針・目標の理解」…保護者・生徒ともに「3」「4」の割合は8割超で、学校から保護者・地域の方々へ「学校だより」や「給食・食育だより」などを学校HPに掲載することを通して教育方針・目標を伝え、生徒にも学校行事等を通して常々伝えており、今後も継続していく。
○「15　家庭や地域との連携協力」…「3」「4」の割合は8割超で、コロナ禍での厳しい状況ではあるが「学年・学級だより」等を通じて保護者と連携強化を図り、学校支援ボランティアや地域交流推進事業での地域交流を今後も推進していく。

15　家庭や地域との連携協力

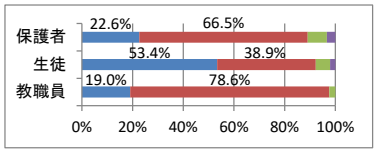
学校は家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。



⑧本校の教育

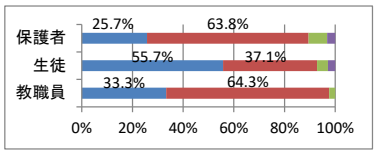
16　仲間づくり

子どもはいじめがなく、支え合い、高め合う仲間づくりができていると思いますか。



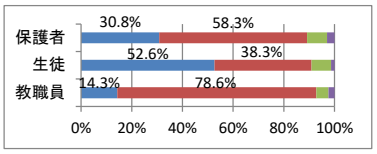
17　学び合い

子どもは仲間と協力し合い、学び合いながら学習を進めていると思いますか。



18　基本的生活習慣

子どもは挨拶や身なり、時間を守るといった基本的な生活習慣が身についてきていると思いますか。



【学校から】
○「16 仲間づくり」…「3」「4」の割合はそれぞれ8割超であるが、「4」の割合が生徒と保護者・教職員とで差が大きい。今年度も学級活動や授業を通して高め合う仲間づくりに取組み、体育大会や合唱コンクール等の学校･学年行事で同じ目標に向かって協力し、互いのよさを認め合う活動を実践しており、更なる教育活動の推進に努めていく。
○「17 学び合い」…「3」「4」の割合はそれぞれ8割超で上述のとおり授業改善の成果を点検し、主体的で対話的な深い学びの視点を活かした授業づくりに今後も努めていく。
○「18 基本的生活習慣」…「3」「4」の割合はそれぞれ8割超ではあるが、教職員と生徒・保護者とで差が大きい。気づきの挨拶や身だしなみ、時間厳守などにおいてまだ課題は見受けられるため、家庭と連携しながら基本的な生活習慣の定着に努めていく。

来年度の具体的な取り組みについて

◇学習研究部
　○授業改善と授業力向上（ステップアップサポーターの活用や公開授業の実施など）
　○生徒の学習意欲を高め、自主学習を充実させるためのICT機器の有効活用
　○朝読書、読書活動の推進と学校図書館の活用
　○総合的な学習の時間を使った探求的な学習の充実
　○「キャリアパスポート」を活用した夢や志がもてる進路指導などキャリア教育の充実

◇心・活動部
　○生徒会活動において、生徒が主体的に取組む生徒会活動、特別活動の充実
　○教室設営や校内掲示の充実
　○学校支援ボランティアや保護者、生徒と連携した学校緑化活動の推進
　○体力向上を図る授業の充実と部活動の活性化
　○生徒の心の成長を促すための道徳教育の充実

◇生活・支援部
　○自己指導能力育成に向けた生徒の自発性・自主性・自律性の育成
　○小中連携した児童生徒の実態把握と共通・継続的実践
　○学校保健委員会の活用と基本的生活習慣の定着
　○校内支援委員会の活性化と特別支援教育の充実
　○保護者、地域や関係諸機関と学校とのさらなる連携による、生徒の健全育成と安心・安全な学校づくり

学校関係者評価

○学校のホームページが充実しており、今年度は校区内の小学校のホームページにアクセスできるように工夫がされていた。

○学校HPで、学校だよりや給食・職員だよりなどで保護者、地域に常に情報を発信しておられ、素晴らしい。学校での生徒の様子や活動を知ることができ、楽しみにしております。

○「行事で人を育てる」という学校の教育方針はぜひこれからも継続してほしい。

○子どもたちは、友だちへの思いやりを持ち、仲良く学校生活を送っている。

○学校では、いじめ問題の早期発見、早期対応、再発防止に全職員で取り組んでおられる。見逃すことのないように家庭との細かい連携を図っていくことに期待します。

○先生方はわかる授業、楽しい授業づくりに努めており、子どもは意欲的に授業に取組んでいる。

●コロナ禍において行事や地域との繋がり等難しい面も多々あるかと思うが、地域交流推進事業などを継続し、よりよい学校づくり、地域づくりができることを望んでいる。

●今後もいじめや不登校などに対して継続した取組をお願いします。

●タブレットの有効活用を期待します。

●全体的には良い評価と思いますが、⑤⑧⑨の項目では保護者、生徒と教職員との間で差があるので、保護者と学校の連携を密にしていくことを期待しています。